

著者・訳者紹介

■著者

ダニエル・A・ワグナー (Daniel A. Wagner)

ペンシルベニア大学教育学研究科・UNESCO 学習識字分野チェア教授

「国際識字研究所」(International Literacy Institute) の創設者であり、ペンシルベニア大学「国際教育開発プログラム」(International Educational Development Program) 主任教授。ミシガン大学で心理学を専攻 (Ph. D.) し、フルブライト研究員を務める。米国平和部隊におけるボランティア活動を経験し、UNESCO・UNICEF・世界銀行・米国国際開発庁・英国国際開発省などの開発援助機関、各国政府、市民社会組織の顧問として活躍。米国教育学会 (American Educational Research Association) フェローであり、2014年には UNESCO の孔子国際識字賞を受賞。25冊を超える著書・編著があり、多数の論文を執筆。詳しくは www.danwagner.org を参照。

■訳者

前田美子 (まえだ みつこ)

大阪女学院大学国際・英語学部教授

ロンドン大学教育研究所 (M. A. 取得)、大阪大学人間科学研究科 (修士号取得)、香港大学比較教育学系 (Ph. D. 取得) / 中学高校理科教員、青年海外協力隊、JICA 教育専門家を経て、現職。ペンシルベニア大学教育学研究科客員研究員、鳴門教育大学教員教育国際協力センター共同研究員、早稲田大学教師教育研究所招聘研究員、香港比較教育学会紀要編集員として、教育開発の実践と研究に従事。 / 共訳書として、『比較教育研究：何をどう比較するか』[上智出版会、2011年、原著は Bray, M. et al. (Eds.). (2007) *Comparative Education Research: Approaches and Methods*. Hong Kong: CERC, HKU & Springer]。また、最近の研究論文として、Maeda, M. (2019) Exam cheating among Cambodian students: When, how, and why it happens, *Compare: A Journal of Comparative and International Education*, DOI: 10. 1080/03057925. 2019. 1613344 がある。